

# かながわ女性の活躍ムーブメント拡大事業【神奈川県】

## 地域の実情と課題

神奈川県における女性の就業については、いわゆるM字カーブの谷の深さとその後の労働力率の低さ、女性管理職割合の低さ、正社員の割合や平均勤続年数の男女差の大きさなど、積極的な改善取組みが求められている。

## 目的・目標

- ・男女共同参画と地域経済の活性化を進めるため、平成27年11月に結成した「かながわ女性の活躍応援団」を核として、経営者層の意識改革や地域企業における女性活躍推進の取組みなどを進め、地域社会全体の女性活躍ムーブメント拡大につなげる。
- ・ムーブメント拡大シンポジウムへの参加者による意識改革や、民間事業所の女性管理職割合の増加(H26:6.5%→H30:10.5%)を目指す。

## 事業の特徴

- ・「かながわ女性の活躍応援団」の構成は、県内の経営者の多くは男性であることから、男性リーダーから男性リーダーへ意識改革を働きかけることを目的に、応援団員はあえて男性のみ
- ・啓発のために、シンポジウムの開催、取組紹介テレビ番組の制作・放送、応援団ホームページの開設、広報用動画・冊子の作成

## 連携団体

「かながわ女性の活躍応援団」

○構成メンバー

(株)アイネット、京浜急行電鉄(株)、(株)資生堂、(株)高島屋、(株)ツクイ、日揮(株)、日産自動車(株)、(株)ファンケル、富士通(株)、(株)横浜銀行の企業トップ10人及び神奈川県知事

## 事業の効果

- ・ムーブメント拡大シンポジウムについては、定員(350人)を上回る参加申し込みがあり、当日の参加者も370人であった。参加者アンケートでは、議論された課題を自らのこととしてとらえた感想が目立った。
- ・「かながわ女性の活躍応援団」ホームページについては、閲覧件数がサイトの公開開始から3月末までに約100,000件と大変注目を集めた。

## 今後の課題

- ・事業の核となる「かながわ女性の活躍応援団」は平成27年度より、取組みに積極的で神奈川県ゆかりの大企業トップ10人と神奈川県知事でスタートした。
- ・平成28年度以降の団員拡大や応援団を核とした意識改革事業の推進など、社会的ムーブメント拡大をより一層進めていく必要がある。

# 事業の概要

## シンポジウムの開催

かながわ女性の活躍応援団ムーブメント拡大シンポジウム

テーマ:女性の活躍とこれからの企業

日時:平成28年1月20日(水) 14:30~16:30

場所:はまぎんホールヴィアマーレ(横浜市西区みなとみらい3-1-1)

参加者: 370人

内容:鹿嶋 敬氏(内閣府男女共同参画会議議員、(一財)女性労働協会会長)による基調講演とパネルディスカッション

パネリスト:宮島 和美氏(株ファンケル 代表取締役社長執行役員)

肥塚 見春氏(株高島屋 代表取締役専務)

越田 進氏(株横浜銀行 取締役常務執行役員)

岩田 喜美枝氏(神奈川県男女共同参画審議会会長、公益財団法人21世紀職業財団会長)

コーディネーター:黒岩 祐治(神奈川県知事)



## 紹介動画の作成

①PR動画(30秒)



②テレビ番組の放送



(11回)

③企業別動画(3分)



(11本)

④研修用教材動画(15分)



## 紹介冊子の作成

- ・名称:woman act.女性が、どんどん主役になる。
- ・作成時期:平成28年1月
- ・規格:A4判16頁4色刷り
- ・作成部数:8,000部



## ホームページの作成

かながわ女性の活躍応援団の紹介

- ・行動宣言
- ・応援団企業で働く女性のレポートなど



## 紹介動画の作成

①PR動画(30秒)



②テレビ番組の放送



(11回)

③企業別動画(3分)



(11本)

④研修用教材動画(15分)



- ①「かながわ女性の活躍応援団」のPR動画。シンポジウムや横浜駅等の電子看板で放映
- ②各企業の取り組みを取材し、テレビ神奈川の番組内で放送
- ③テレビの取材VTRを編集し直しホームページに掲載
- ④企業の取り組み紹介を交え、女性活躍の課題を考える教材用動画